



第15回堺市議会 議会報告会

令和7年11月22日（土）

○西田浩延議長

皆さん、こんにちは。

ただいまから「第15回 堺市議会 議会報告会」を開催します。

私は、堺市議会議長の西田浩延です。

本日は、大変お忙しい中、議会報告会にご参加いただき、ありがとうございます。

この議会報告会ですが、昨年度から、市民の皆さんにとってより身近で開かれた議会に向けて、市内、各区で開催しています。

今年度は堺区、西区、美原区で開催することとなりました。私たち議員が地域に出向き、皆さんと直接お話しすることで、議会をより身近に感じていただければ幸いです。

本日の議会報告会は、2部構成であります。

第1部は、「議員による議会報告」として、議会の役割のほか、若者・子育てに関わる施策など、議会での審議内容を説明する動画をご視聴いただきます。

第2部は、堺区・西区・美原区、それぞれの会場でグループに分かれ、参加者と議員で、自由に意見交換を行います。

例えば「若者、子育て世代が住み続けたいと思うまち」など、グループごとに関心のあるテーマを選んでいただき、活発な意見交換を行っていただければと思います。

本日は、若い世代の方をはじめ、幅広い世代の方にご参加いただいています。

皆様のご意見は、堺市政をより良くするための貴重な声であり、その声をこれからの議会活動に反映させることが、私たち議員の大切な役割です。

本日、ご参加いただいた皆さんの、様々なご意見をお伺いできることを、心から楽しみにしています。

今回の議会報告会が、皆さんにとって、「参加してよかった」と思えるような、有意義な時間になることを願っています。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、宮本恵子議会運営委員長、司会進行をよろしくお願いいたします。

第15回堺市議会 議会報告会

本日のスケジュール

	時間	内容
第1部 議員による 議会報告	14:00～ 14:30	開会の挨拶(西田浩延議長) 「議会の役割と若者・子育て世代への堺市の取り組み」報告 (淵上猛志議会運営委員会副委員長)
	14:30～ 14:35	休憩
第2部 議員との 意見交換	14:35～ 15:45	懇談テーマ例 「若者、子育て世代が住み続けたいと思うまちについて」 「市民の政治参画について」など
閉会	15:45～ 16:00	お礼の挨拶(会場責任者) 記念撮影(テーブル別及び各区参加者全員)

○宮本恵子議会運営委員会委員長

皆さん、こんにちは。

私は、本日の総合司会進行を務めます、本会議の運営等を協議する委員会である、議会運営委員会委員長の宮本恵子です。

どうぞよろしくお願いいたします。

皆さん、本日は議会報告会にご参加いただきましてありがとうございます。

それでは、早速ですが、本日の進行スケジュールについて説明させていただきます。

本日の議会報告会は、2部構成でございます。

まず第1部ですが、「議員による議会報告」としまして、淵上猛志議会運営委員会副委員長から説明をさせていただきます。

第2部では、引き続きこのテーブルで、本日ご参加の皆さんと議員とで「意見交換」を行います。テーマについては、例えば「若者、子育て世代が住み続けたいと思うまちについて」や「市民の政治参画について」など、テーブルごとに関心のあるテーマを選んで、意見交換を行っていただきます。意見交換会が終了しましたら、本日の議会報告会は閉会となります。

なお、閉会后、テーブルごと、また区参加者全員で、記念撮影をしたいと考えております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

何かご不明な点などがございましたら、遠慮なく申し出てくださいますようお願いいたします。

第1部 議員による議会報告

①議会の役割

②若者・子育て世代への堺市の取り組み

それではここで、本日の出席議員を紹介します。

まず、先ほど、ご挨拶いたしました、議長の 西田浩延議員です。

副議長の 西川良平議員です。

議会運営委員会副委員長の 湊上猛志議員です。

ただいま紹介しました議員以外にも、本日は多くの議員が参加します。第2部の各テーブルで、自己紹介しますので、よろしくお願いいたします。

それでは第1部「議員による議会報告」を始めたいと思います。まず、議会の役割・審議等報告についてご説明します。湊上猛志議会運営委員会副委員長、よろしくお願いいたします。

議会の役割

堺市議会



○ 瀧上猛志 議会運営委員会副委員長

議会報告会にご参加の皆さん、改めまして、こんにちは。
堺市議会の議会運営委員会副委員長の瀧上猛志です。
私からは、まず議会の役割を説明させていただきます。

多くの市民の暮らしには、多くのものがが必要です

税金等で必要なものを作ったり、
運営したりするのが市役所で、
その責任者が**市長**です。



市長は大事な役割を担っている
ので、**選挙で選びます**。



このまちには、たくさんの方が住んでいます。「たくさん」というだけでなく、それは実に「多様」です。「ゆたかな暮らしをするために、このまちに何が必要か」を聞けば、いろんな答えが返ってくるはず。生活をするには「道路」が必要です。子どもたちの「学校」もなくてはなりません。「保育所」だってそうです。

こうした「必要なもの」を、皆さんから集めた税金で作ったり、作った施設を運営したりするのが市役所で、その責任者が市長です。

市長がとても大事な仕事を担っていることは、お分かりいただけるとと思います。だから市長は「選挙」で選びます。

選挙で選んだ市長に何でも任せてしまっていていい？



選挙で選ばれた
48人の議員が
多様な視点で
市長をチェックし、
多様な意見を届けて
います

ここで1つの疑問があります。選挙で選んだ市長だったら、何でも任せてしまっていていいんでしょうか？いくら選挙で選ばれた市長でも、人間ですから判断をあやまることがあります。たった1人で、たくさんの市民の多様な想いを把握するのは困難です。この堺市だと80万人以上の市民が暮らしています。

ですから、同じように選挙で選ばれた48人の議員が、多様な視点で市長をチェックし、多様な市民の声を市長や市役所に届けています。

そして、皆さんから集めた税金が、本当に皆さんのゆたかな暮らしのために使われるようにしています。

令和7年度当初予算

私たちがチェックしている「お金」です



【一般会計】4,879億円

福祉や教育などの基本的な事業を行うための会計

(市民1人あたり約61万円！)

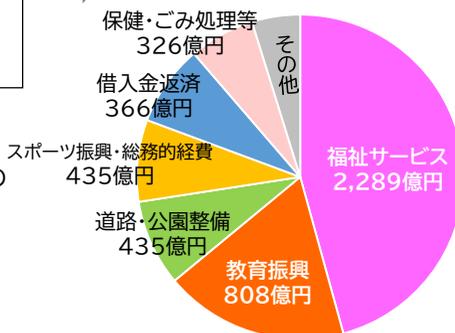
【特別会計】2,598億円

国民健康保険や介護保険などの特定の事業の会計

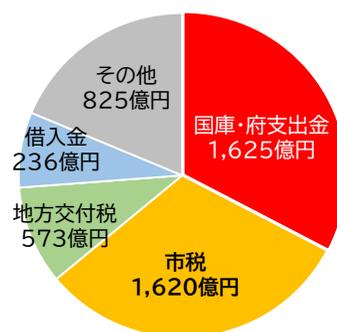
【企業会計】903億円

料金収入などで運営している水道・下水道事業の会計

【歳出内訳】 何に使っているか？



【歳入内訳】 どこから集めたか？



では、皆さんから集めた税金、つまり私たちがチェックしているお金がどれくらいなのか説明します。

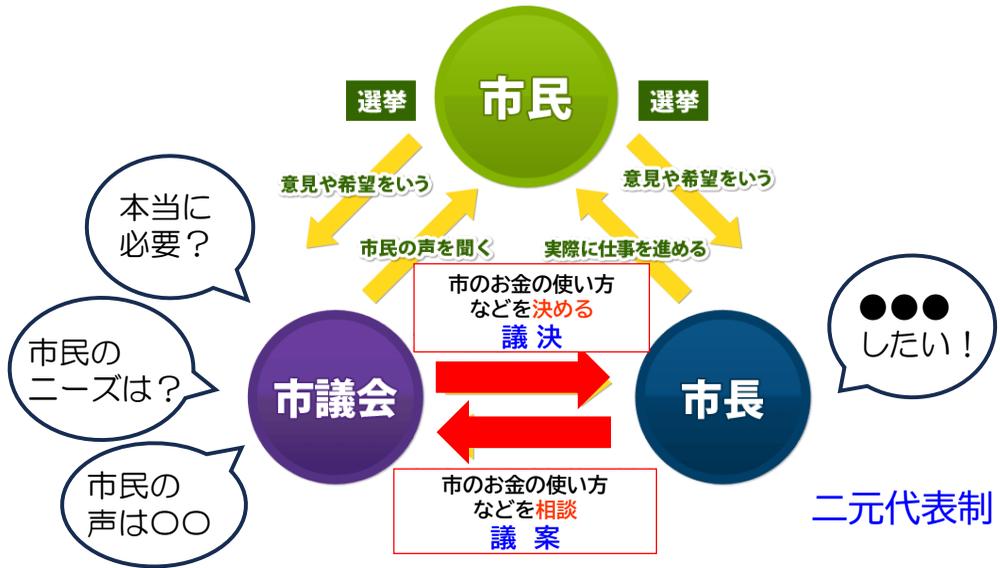
堺市が、福祉や教育など一般的な事業に使うお金を「一般会計」と言い、その額は令和7年度の予算で4,879億円です。赤ちゃんからお年寄りまで含めて、市民1人あたり約61万円です。今日ここにいる皆さんも含め、「1人61万円を市長と市役所に預けて使いみちを考え、私たちがチェックしている」と考えると、その責任の重さ、大事さが分かってもらえるのではないかと思います。

そのほか、税金ではなく、保険料として集めて特定の事業に使っている「特別会計」が2,598億円、水道料金として集めて運営している水道、下水道の「企業会計」が903億円あります。

一般会計の歳出、つまり何に使っているかは、多い順に福祉、教育、道路公園整備などとなっています。

歳入、つまりどういうところからお金を集めたかについては、国や大阪府が集めた税金等から堺市に出す補助金の「国庫・府支出金」1,625億円や「地方交付税」573億円、また、堺市が直接集めた税金「市税」1,620億円などとなっています。

市民・市議会・市長の関係



市長も市議会も、共に市民から選ばれた、市民の代表者です。

市長はお金の使い方について提案・相談し、議会はそれを受けて色々な意見を出し、それでいいかどうかを最終決定します。

たとえば、市長が「●●したい」と、市議会に「議案」として説明します。市議会は「本当に必要なのか?」「市民のニーズはあるのか?」「市民からこういう声を聞いている」など、様々な意見を出して議論をして、「議決」として、実際に行うかどうかを決めます。

こうして、双方が市民の代表者として、緊張感を持ち、バランスを保ちながら、お金の使い方や堺市の方向性を決めたり、仕事ぶりをチェックしたりする仕組みを「二元代表制」と言います。

議会で話し合っていること

- ① 条例(市の決まり)の制定・改廃
- ② 予算の決定(お金をどのように使うか)
- ③ 決算の認定(正しく使われたかの確認)
- ④ 市の仕事が市民のために正しく行われているかどうかの調査
- ⑤ 国や府に対して改善してほしいことの見解を出すこと
- ⑥ 副市長、教育長など大切な役職につく人を決めるときの同意 など



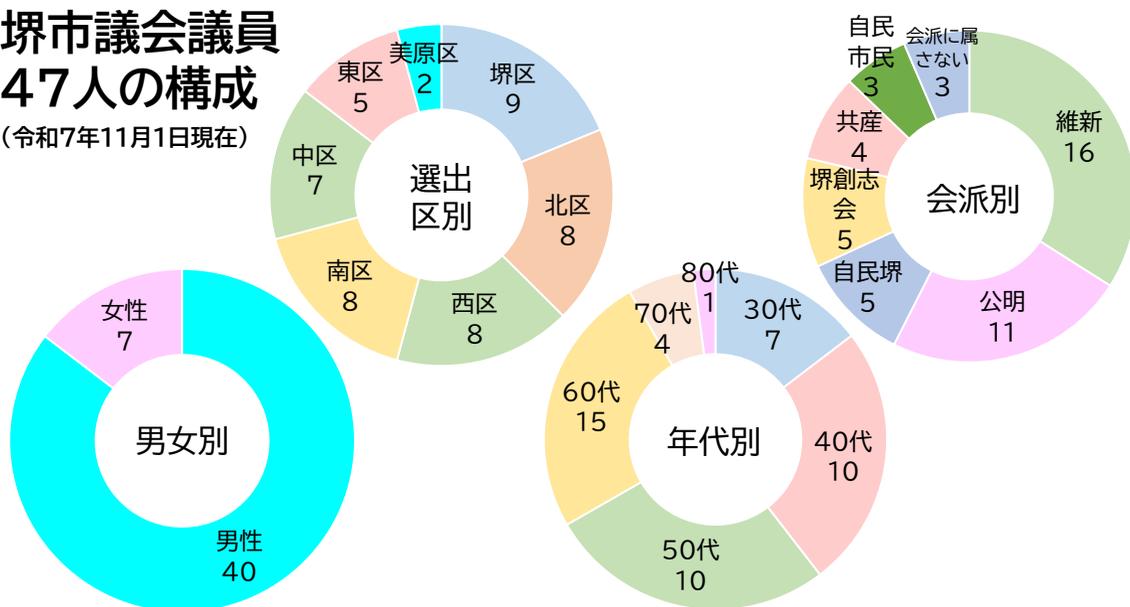
私たちが議会で話し合っていること、決めていることはこのようなものです。

条例、つまり堺市内の法律・ルールを作ることや変えること。お金の使いみち。お金が決めた通りに正しく使われたかの確認。市の仕事が市民のために正しく行われているかの調査。国や大阪府に対して改善してほしいことの見解を出すこと。堺市の大事な立場である副市長や教育長など、市長が選んだ人でいいのかどうか。

そういったことを話し合い、議会として意思決定しています。

堺市議会議員 47人の構成

(令和7年11月1日現在)



続いて、議会の構成です。

堺市は7つの区に分かれて選挙をし、それぞれに選ばれる議員の数が違います。これはそれぞれの区の人口を基にして、決めています。令和7年11月1日現在の議員数は、男女別では男性が40人、女性が7人です。国会も地方議会も、日本は女性議員の割合が非常に少ないことが課題となっています。

議会では、考え方の近い人たちで「会派」というグループを作って活動しています。堺市議会では大阪維新の会16名、公明党11名、自由民主党堺市議会議員団5名、堺創志会5名、日本共産党4名、自由民主党市民クラブ3名、どの会派にも属さない議員3名となっています。

年代別にはご覧の通りで、最年少議員が本日時点で33才、最年長が84才です。若い方々にもっと政治に関心を持ってもらい、その中から「自分も議員に」と思って挑戦される方が出てくることを期待しています。

第1部 議員による議会報告

①議会の役割

②若者・子育て世代への堺市の取り組み

続いて「若者・子育て世代への堺市の取り組み」についてご説明します。

出産・就学前の子育て支援

- 産後ケア事業
- 乳児家庭全戸訪問
- 保育料無償化
0～2歳の第2子以降(所得制限なし)
- 子ども医療費助成
0～18歳まで所得制限なし



など

堺市のたくさんある取り組みのなかで子育て支援についてご紹介します。

まず、出産時や就学前の子育て支援です。

産後ケア事業は、出産後に慣れない育児に疲れてしまいがちな母親のために、育児の支援や心身のケアでサポートをする制度で、昨年度に内容を拡充しました。

また、保健師による乳児家庭の全戸訪問を行っています。

保育料について、0～2歳の2人目以降の子どもの保育料無償化を所得制限なしで行っています。3歳から5歳については国の制度で無償化となっています。

子ども医療費助成は、0歳から18歳まで所得制限なしで行っています。1回500円、1ヶ月に同じ医療機関なら2日までの負担で医療が受けられます。最近では18歳まで助成する自治体は増えてきましたが、堺市は全国的にも先駆けて18歳までの助成に取り組んできました。

堺市の保育支援

保育士の不足、処遇改善が全国的な課題

堺市の取組

- ・さかい保育士等就職応援事業
- ・保育士宿舍借り上げ支援事業
- ・学内フェア・セミナーの開催
- ・就活サポート相談会

など



子育てにおいて、保育は大きな役割を担っていますが、保育士の不足と処遇改善がいま全国的な課題となっています。堺市議会の議員は毎年、各行政区単位で「さかい民間教育保育施設連盟」の施設長の皆さんと懇談の機会を持ち、保育の実態や要望をお聞きしていますが、保育士のなり手がいない、なっても続けられないことなど、切実な実情が語られます。

こうした声を受けて、堺市では次のような取り組みをしています。

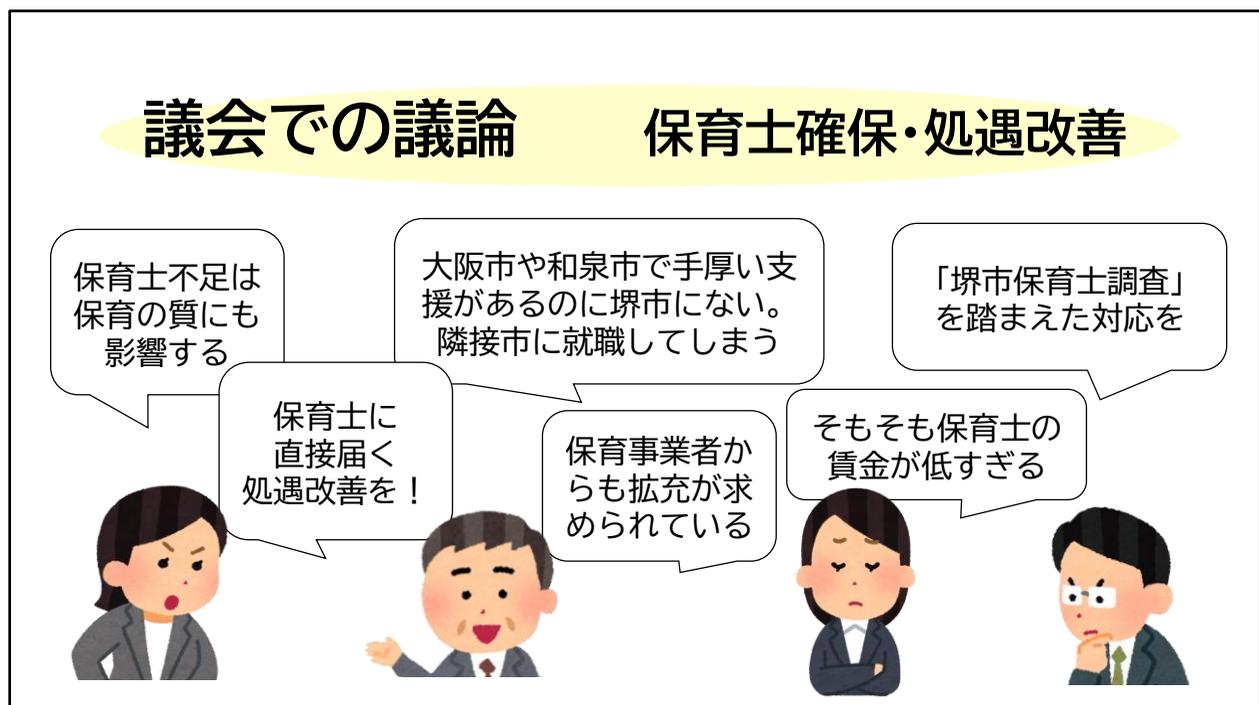
「さかい保育士等就職応援事業」は、保育士資格を持つ人が堺市内の民間保育所等に就職する際に、必要な就職準備金を最大40万円まで貸し付けます。就職後2年間継続して勤務すれば返還免除となります。

「保育士宿舍借り上げ支援事業」は、堺市内の保育事業者が、借り上げた宿舎に保育士を入居させる場合、借り上げに係る費用の一部を補助します。

学内フェア・セミナーの開催や、就活サポート相談会などで、保育士等の就職支援のコーディネートも行っています。

議会での議論

保育士確保・処遇改善



しかし現状、保育の課題は深刻になるばかりです。

議会では、特に保育士の処遇改善について、各会派や議員から強く求める質問が相次ぎました。

堺市では、今年民間保育施設の保育士に対し、「堺市保育士調査」というアンケートを行いました。「保育士として職場を選ぶ際、どのようなことを重視しますか？」「どのようなことが充実すれば、現在の職場で働き続けたいと思いますか？」という質問に対し、どちらも「給与」という答えが最も多くなっています。

保育士の処遇改善は全国的な課題として国の対応も待たれていますが、緊急に対策が必要と多くの自治体が独自の取り組みも進めてきています。

そうした中で、現場の実態を元に議会でも要望が相次ぎました。

就学期の子育て支援

- 小学校給食費の無償化

今年度から3年間で段階的に無償化

今年度は小学校及び特別支援学校小学部の1・2年生

- 中学校全員喫食制給食

今年6月からスタート

議論されている主な課題

- 不登校への支援
- 学校給食
- 教員の不足
- 学校の熱中症対策



続いて、就学期の子育て支援です。

小学校給食費の無償化が3年かけてですが段階的に実現を予定しています。今年度は小学校と特別支援学校小学部の1・2年生が無償化となります。

もうひとつ、中学校ではみんなで食べる全員喫食制給食が今年6月からスタートしました。

この2つは、市民の皆さんの要望も強く、これまで議会でも実現を求めてきたことです。

学校現場では様々な課題があり、議員にとっても、子どもや保護者、教職員や地域の皆様からのご意見、ご要望をお聞きする機会が多く、改善を求めて毎回多様な議論が行われる分野です。

今年度に議論した主な課題は、不登校、教員の不足、学校の熱中症対策などがあります。

議会での議論 教育への支援



不登校の子どもがいま全国的に増えていて大きな課題になっています。堺市としてもしっかり支援に取り組む必要があるということで、議会では子どもの居場所づくりやフリースクールへの補助や、教育支援教室の対象学年を広げる要望、ICTの活用など、様々な意見が出されました。

教員不足も深刻です。早急に教員の確保で解消の手立てを取ることや、業務負担の軽減に向けた対策が話し合われました。

全員喫食の中学校給食がスタートしたことにより、給食の内容についての議論も多くされています。給食センターからの安全な配送、生徒がおいしく食べられる安心・安全な献立や、アレルギー対応についてなど、より良い給食にしていくための意見が出されています。

また異常な暑さが続いたなかで、体育の授業やプールでの水泳授業や、部活動などが安全に行えるよう、必要な対策を今後検討していくよう教育委員会に求めるなどの議論を行いました。

若者への支援

- 大学生・高校生への給付型奨学金
- さかい学生&若者応援
DAY in summer
- 子育て世帯等空き家活用
定住支援事業補助金

など



続いて、学生、若者、若年世帯への支援です。

堺市独自の給付型奨学金制度は、昨年度から、対象者の拡大や増額などの拡充がされています。昨年度から新たに対象となった大学生、短期大学生などへの奨学金は、所得制限・成績要件がありますが、120名に年額12万円を支給するもので、令和6年度は322名の申請がありました。

また、さかい学生&若者応援DAY in summer というイベントに取り組んでいます。物価高騰のなかでも安心して生活できるよう、食料品や災害備蓄品を活用した生理用品の提供や、相談支援などを行うもので、今年は7月13日に行い182名に参加いただきました。次回は今年の冬に予定しています。

子育て世帯等空き家活用定住支援事業補助金は、空き家を購入し、市外から転入又は市内の賃貸住宅から転居した若年世帯・子育て世帯に対して費用を補助します。

議会での議論 万博関連事業

万博の人の流れを堺に呼び込むことが大切

子ども招待事業は、万博を身近に感じさせる機会

万博推進事業ひとつひとつが本当に必要だったか検証を



安全が確保されないなかでの万博遠足には反対



春の催事



夏の催事

その他の項目についてもご紹介します。

今年4月から、夢洲で大阪・関西万博が開催されていましたが、堺市における万博関連事業として様々な取り組みが実施されました。

万博会場で合計10日間ほどのイベントや、堺市独自の子ども招待、堺旧港から夢洲までの海上交通のための棧橋設置など、昨年度と今年度に予算が付けられました。

万博関連事業については議会で様々な議論がなされました。

万博をきっかけに人の流れを呼び込むべきという意見や人を呼び込むなら堺市に行きたいと思ってもらえる取り組みが必要という意見、また、大阪府による学校行事としての子ども招待事業に対し、安全が確保されないなかでの実施はすべきではないという意見などが出されています。

それぞれの区取り組み

区役所では、区民ニーズなどを踏まえ、区の実情に応じた様々な事業を実施しています。



堺市では、それぞれの区の実情・特性に応じた取り組みを推進しています。

区役所では、区民ニーズなどを踏まえ、主体的かつ総合的に区域の特性に応じた様々な事業を実施しています。

今日ご参加の皆さんがお住まいの地域について紹介します。

堺区役所の取り組み

堺区防災対策サインの設置

- ・ 標高表示・指定避難所誘導など

約400枚設置



標高表示サイン



指定避難所
誘導サイン

堺区こども音楽フェス

- ・ 堺区内のこども園の園児や小中高生、
大学生が吹奏楽などを発表
- ・ 地域交流や活性化につながる



堺区こども音楽フェス

堺区役所の取り組みを紹介します。

「堺区防災対策サインの設置」は、平常時の市民及び来訪者への防災意識の啓発として、また、災害発生時には迅速な避難行動を取り、身の安全を守ることを目的に、標高表示サインや指定避難所誘導サインなどの防災対策サインを、堺区内に約400枚設置しています。

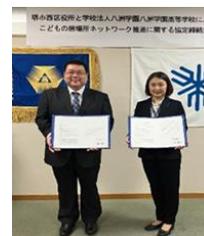
「堺区こども音楽フェス」は、堺区内のこども園の園児、小・中学生、高校生、大学生などが吹奏楽等の練習成果を発表する場を提供し、それを通じた堺区への愛着醸成と健全育成を目的に令和5年から始まり、今年は関西大学との地域連携事業として8月30日に関西大学堺キャンパスで開催しました。関西大学生などによる遊びのコーナーや模擬店などの出店を通じた、地域交流や活性化にも繋がっています。

こういったイベントや堺区ならではの魅力を公式 YouTube「サカエルTV」やインスタグラムなどのSNSを通じて情報発信をしています。

西区役所の取り組み

こどもの居場所ネットワーク推進

- ・ 八洲学園と連携
- ・ 保護者向けの交流会
- ・ 居場所運営の4団体と連絡会



こどもの居場所ネットワークの推進

健康夏祭り

- ・ 生活習慣改善の啓発
- ・ 家族連れで気軽に参加できる
取り組み



健康夏祭り イトーヨーカドー津久野店で開催

西区役所の取り組みを紹介します。

西区では、令和7年1月30日に区内の学校法人八洲学園と事業連携協定を締結し、学校にいきづらいこどものいる保護者を対象とした交流会の開催や、西区内にある学校にいきづらいこどもの居場所を運営する4団体と「西区こどもの居場所ネットワーク連絡会」を立ち上げこどもの居場所のネットワーク化の推進に取り組んでいます。ネットワーク化を通じて、こどもの居場所の質の向上と量的な拡充をめざし西区のこどもを支援します。

また、西区は他区と比較し高血圧の男性が多いため、生活習慣改善に特に力を入れて取り組んでいます。また、家庭や地域全体で「いのち」をはぐくむ取り組みを推進しています。いずれも、アウトリーチ型のアプローチを重視し、その一環として8月にイトーヨーカドー津久野店で、家族連れで気軽に参加できる「健康夏祭り」を開催しました。店舗1階では血圧測定や野菜はかりのクイズ、店舗2階では赤ちゃんの抱っこ体験や命のトンネル体験、妊婦エプロンをつけた妊婦体験などを実施しました。

今後も大規模商業施設や地域行事の会場などに出向き、様々な機会をとらえて西区の健康増進に取り組めます。

美原区役所の取り組み

美原区古代米プロジェクト

- ・ 農業や歴史遺産を活かした古代米の特産品や農業体験



令和6年度稲刈り



令和7年度田植え

美原まちなか文庫

- ・ 地域や家庭から寄贈の本を設置
- ・ 読み聞かせ会の開催
- ・ 商業施設などに11か所



美原まちなか文庫



絵本読み聞かせ会

美原区役所の取り組みを紹介します。

美原区古代米プロジェクトは、美原区の魅力である農業や歴史資源を活かし、黒姫山古墳横の田んぼで市民の皆さんと力を合わせて取り組んでいます。

田植え、稲刈りイベントは、子どもたちが農業に触れる機会を創出することを目的に、毎年たくさんの応募、参加をいただいています。農業塾では、田植えの準備から収穫までの一連の作業を通じて、お米の栽培を継承。「美原の古代米」の後継者の発掘・育成を目的としています。

また、美原区の特産品として、古代米を買える店や食べられる店があり、古代米を使った商品開発なども、事業者に協力いただいています。

美原まちなか文庫は、こどもの読書習慣の形成を図るため、地域や家庭で読まれなくなった本を寄贈してもらい、子どもが集まる場所への本の設置や読み聞かせ会を開催し、多くの本に触れられる機会を作る取り組みを行っています。平成30年に美原区役所でオープンし、その後、郵便局やららぽーと堺、カフェなど11か所まで拡げてきました。

議員はそれぞれ選出された区の課題についても、区民のみなさんから聞き出した意見や要望を元に議会で議論し、地元の要求実現にも取り組んでいます。

議会報告

ご清聴ありがとうございました。

「議会の役割と、若者・子育て世代への堺市の取り組み」ということでお話させていただきました。
皆様のご要望なども、第2部でお話しいただければと思います。
以上をもちまして、第1部、議会報告を終わらせていただきます。
ご清聴ありがとうございました。



第15回堺市議会 議会報告会

令和7年11月22日（土）

- 宮本恵子議会運営委員会委員長
 淵上猛志議会運営委員会副委員長ありがとうございました。
 それではこれで、第1部の議会報告を終わります。